

揖斐農林事務所の普及活動状況 令和6年5月31日現在

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■地域就農支援 第1回揖斐地域就農支援協議会の開催

5月28日にJAいび川本店で、第1回就農支援協議会を開催した。協議会は、JAいび川、町、揖斐農林事務所（農業普及課、農業振興課）で構成し、就農相談、研修、就農・営農定着支援を行っている。

今回は、令和7年度の就農をめざし「あすなる農業塾」の入塾を希望する新規就農希望者に対し研修体制を整えることを決定した。また就農相談の実施状況や今年度の伴走支援対象者の支援体制について確認した。

農業普及課は、引き続き関係機関と情報を共有しながら就農計画の作成支援や、営農定着に向けた技術支援を行う。



【会議の様子】

■新規就農者 第1回リーダー研修会の開催

5月28日にJAいび川本店で、揖斐地域就農支援協議会主催の第1回リーダー研修会を開催した。講師に元岐阜県普及指導員で農業を営む日比野義昭（ひびのよしあき）氏を迎え、実践的な生産と販売手法について講義と意見交換を行った。研修会には新規就農者7名が参加した。参加した新規就農者は、県内外のトップレベルの農業者の実践方法や情報の入手方法について学び、その後、自らの品目について質問や意見交換を行った。質問者に対する詳細な技術指導もあり有意義な研修会となった。

農業普及課が窓口となり、次回は同講師による新規就農者ほ場の視察を企画する。



【研修の様子】

■アスパラガス 第1回帰農塾の開催

5月18日にJAいび川担い手サポートセンターでアスパラガス帰農塾を開催し、受講生5名が参加した。帰農塾は揖斐アスパラガス部会、JAいび川、揖斐農林事務所（農業普及課）が連携し、新規部会加入者の確保を目的に年4回の講座を行う予定としている。

今回は開講式後、アスパラガス栽培概要、播種から定植までの育苗管理の講義、播種の実習を行った。実習で播種したアスパラガスは各自持ち帰り管理し、次回の講座で生育状況を報告する予定である。

農業普及課は引き続き講師として、アスパラガスの生産技術について指導する。



【講義の様子】

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■茶 揖斐川町児童による茶摘み体験と製茶工場見学

5月1日に揖斐小学校と大和小学校の3年生41名が、（農）桂茶生産組合で茶摘み体験と製茶工場見学を行った。児童の茶摘みは、地域産業への関心と理解を深めることを目的に総合学習の一環として毎年実施している。

児童らは、手摘みで「一芯二葉」となるよう、熱心に新芽を摘み取った。また、製茶工場で見学した新芽が製茶される工程の見学と試飲を行った。「美味しい」との感想の他、歴史や生産に対する多くの質問があり、身近な茶産業への関心の高さが伺えた。

農業普及課は、今後も地域農業の振興に向けた活動を行う。



【茶摘みの様子】

■大麦 転用種子ほ場の見回り

揖斐地域の大麦は、6年産から全て「カシマゴール」に品種転換し、約95haを作付けている。「カシマゴール」の種子は県外から導入を予定していたが諸事情により中止となったため、種子の生産も管内で段階的に行う計画である。

このような状況の中、7年産用種子は、6年産一般食用栽培からの転用で賄う。そこで、転用種子の異品種等の混入を防ぐため、転用するほ場を固定し、5月8日にJAいび川、岐阜県米麦改良協会、県関係者で池田町にあるほ場の見回りを行った。結果、問題となる異品種の株はなく、順調な生育を確認した。

今後は、収穫、乾燥した転用種子の発芽率を検査し、優良種子を確保する。



【ほ場見回りの様子】

地域資源を活かした農村づくり

■農業婦人クラブ 揖斐地区農業婦人クラブ連絡協議会総会の開催

揖斐地区農業婦人クラブ連絡協議会は8グループで組織され、地域農産物を利用した加工品づくりや会員の交流等、積極的な活動を行っている。

5月15日に揖斐総合庁舎で通常総会を開催し、クラブ会員や関係機関ら38名が出席した。議案は全て承認され、農業普及課長が祝辞を述べた。引き続き農業普及課が講師となり「夏野菜の栽培について」研修会を行い、クラブ会員は、野菜の栽培管理について理解を深めた。

農業普及課は、今後も引き続き農業婦人クラブ活動について支援する。



【総会の様子】

中山間地域を守り育てる対策

■揖斐地域特産農産物 第1回特産農産物振興チーム会議の開催

5月20日に揖斐総合庁舎で第1回特産農産物振興チーム会議を開催した。チーム会議は、揖斐川町、JAいび川、揖斐農林事務所（農業普及課）で構成し、揖斐川町の在来農産物などについて検討を行う。今回は、徳山なんばをはじめ、飛騨美濃伝統野菜、わさびなどについて品目ごとに今年度の計画を検討した。また、今年度新たな取り組みとなる「薬草推進プロジェクト」のメニューフェア等の開催に向け、食材の研究や確保など関係機関が一丸となり協力し進めることを確認した。

今後は、チーム会議で進捗状況を共有しながら、農業者や関係者の活動を支援する。



【チーム会議の様子】

■飛騨美濃伝統野菜 岐阜大学生との連携

5月26日に揖斐川町春日振興事務所で、ふるさと春日地域づくり協議会の総会が開催された。協議会には、飛騨美濃伝統野菜クラブ、岐阜大学里山くらし応援隊の学生が参加し、今年度の活動計画について意見交換を行った。

岐阜大学里山くらし応援隊は、貝原棚田で飛騨美濃伝統野菜の栽培や薬草の植生調査等を行い、こいやーかすが祭や岐大祭で春日地域の魅力発信を行う計画である。

農業普及課は、これらの活動を支援し飛騨美濃伝統野菜の生産拡大や地域振興を図る。



【意見交換の様子】